

令和7年度 音楽科 年間指導計画 第3学年

東広島市立高屋西小学校

学期	月	題材名	時数	題材の目標	他教科等との関連
前期	4	1.音楽で心をつなげよう	6	(1)曲想とリズム、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)曲の感じを生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	学級活動 理科
	5	2.歌って音の高さをかんとろう	4	(1)曲想と旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範囲を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして表現する技能や、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)旋律、音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)音の高さを感じて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、楽器の学習活動に取り組み、楽譜に親しむ。	
	6	3.リコーダーのひびきをかんとろう	8	(1)リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する基本的な技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3)リコーダーの音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に楽器の学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	
	7 ・ 8 ・ 9	4.拍にのってリズムをかんとろう	9	(1)曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能や、拍にのって音を合わせて演奏する技能、反復や変化を用いて、まとまりのあるリズムをつくる技能を身に付ける。 (2)リズム、旋律、拍、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつたり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識したリズムをつくるかについて思いや意図をもつたりする。 (3)拍子やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に楽器、音楽づくりの学習活動に取り組む。	
	9 ・ 10	5.せんりつのとくちょうをかんとろう	7	(1)曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)旋律、強弱、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつたり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、旋律の特徴を生かした表現に親しむ。	
後期	10	6.せんりつのもりをかんとろう	6	(1)曲想及びその変化と、音色、旋律、音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なり、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつたり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞、歌唱、楽器の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の重なりに親しむ。	
	11 ・ 12	7.いろいろな音のひびきをかんとろう	9	(1)曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、楽器の組合せや音の重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現に必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつたり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)楽器の音色や重なり合う音の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に楽器、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろな音の響きに親しむ。	
	1	8.ちいきにつたわる音楽でつながろう	5	(1)曲想及びその変化と、速度などの音楽の構造との関わりや、音やフレーズをつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音の上がり下がりを感じ取って、旋律をつくる技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつたり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら祭り囃子を味わって聴いたりする。 (3)祭り囃子に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、郷土に依る音楽に親しむ。	社会
	2 ・ 3	9.思いを音楽で表そう 国歌・校歌	6	(1)曲想と音色、旋律、フレーズなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、音の重なり、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)自分の思いを音楽で表現することへの興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、楽器の学習活動に取り組み、友達と協力して表現の工夫をする態度を育む。	学校行事 総合的な 学習の時間
年間授業時数			60		